

単元	教材名	評価規準		Aの目安例	B評価の具体例	Cへの手立て
2	水の東西	知識・技能	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)			
			実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	本文中の漢字や語句の意味を正確に捉えるとともに、対義語について調べ、語彙を豊かにし、これを活用できている。	本文中の漢字や語句の意味を正確に捉えるとともに、対義語について調べ、語彙を豊かにしている。 [記述の点検]	教科書の「語句」「漢字」、また難しい「語句」や読み方のわからない漢字を確認させる。対義語については、教科書の課題について辞書などで調べさせる。
			文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ)	主張と論拠の関係を的確に捉えて文章の効果的な構成について理解するとともに、例示や言い換えなどの効果について理解を深め、これを活用できている。	主張と論拠の関係を捉えて文章の効果的な構成について理解するとともに、例示や言い換えなどの効果について理解している。 [記述の確認]	教科書「課題A」に取り組み、本文で対句的表現の箇所を具体的に確かめ、最終段落の記述を手がかりに考え、「流れる水」「時間的な水」「見えない水」といった「鹿おどし」の特性を押さえて、筆者の主張をまとめる。
			比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ)			
	無彩の色	知識・技能	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)			
			実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	本文中の漢字や語句の意味を正確に捉えるとともに、対義語について調べ、語彙を豊かにし、これを活用できている。	本文中の漢字や語句の意味を正確に捉えるとともに、対義語について調べ、語彙を豊かにしている。 [記述の点検]	教科書の「語句」「漢字」、また難しい「語句」や読み方のわからない漢字を確認させる。対義語については、教科書の課題について辞書などで調べさせる。
			文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ)	主張と論拠の関係を捉えて文章の効果的な構成について理解するとともに、比喩や例示などの効果について理解を深め、これを活用できている。	主張と論拠の関係を捉えて文章の効果的な構成について理解するとともに、比喩や例示などの効果について理解している。 [記述の確認]	教科書「課題A」に取り組み、例を整理させることによって、要旨を捉えさせるとともに、「色眼鏡」という比喩によって、どのようなことを表現しているのかを考えさせる。
			比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ)			
	学びを広げる 身近な日本文化を紹介しよう	知識・技能	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)			
			実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	本文中の漢字や語句の意味を正確に捉えるとともに、対義語について調べ、語彙を豊かにし、これを活用できている。	本文中の漢字や語句の意味を正確に捉えるとともに、対義語について調べ、語彙を豊かにしている。 [記述の点検]	教科書の「紹介文例」「参考」で用いられている語句や、読み方のわからない漢字について確認させ、辞書などで調べさせる。
			文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ)	生徒作品「折り紙」を読み、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、これを活用できている。	生徒作品「折り紙」を読み、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 [行動の観察]	生徒作品「折り紙」の段落構成や、記述する順序などについて考えさせる。
			比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ)			
	学びを広げる 身近な日本文化を紹介しよう	思考・判断・表現	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B)イ)	読み手の理解が得られるよう、説明の仕方を含め、情報の分量や重要度などを考えて、構成や展開を適切に工夫し、これを活用できている。	読み手の理解が得られるよう、説明の仕方を含め、情報の分量や重要度などを考えて、構成や展開を工夫している。 [記述の確認]	「日本のお祭りはどういものですか?」の全文を通読し、相手のことを考えることの大切さ、理解してもらうことの難しさについて確認し、問題例文の書き直しを考えさせる。
			「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B)イ)			
			比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ)			
			比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ)			
	学びを広げる 身近な日本文化を紹介しよう	主体的に学習に取り組む態度	進んで文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫して、学習の見通しをもって紹介文などを書くようになっている。	文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫して、紹介文を書き、交流をとおして、自分の考えを広げ、深めている。	進んで文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫して、学習の見通しをもって紹介文を書いている。 [記述の分析]	題材、構成や順序などが、想定された読み手にとってわかりやすいものなのかを確認しながら、表現の仕方を検討させ、紹介文を書かせる。